

## 振込入金明細(全銀形式・CAMSフォーマット2)出力フォーマット

### ①ヘッダーレコード

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「1」ヘッダーレコードをセット
2	種別コード	N(2)	「01」振込入金明細をセット
3	コード区分	N(1)	使用文字コードの区分(0:JIS)
4	作成日	N(6)	明細発生日 YYMMDD(和暦)
5	勘定日(自)	N(6)	勘定日 YYMMDD(和暦)
6	勘定日(至)	N(6)	
7	銀行コード	N(4)	「0005」固定
8	銀行名	C(15)	「ミツビシユーエフジエイ」(左詰めで残りはスペース)
9	支店コード	N(3)	照会口座の支店番号
10	支店名	C(15)	照会口座の支店名(カナ)(左詰めで残りはスペース)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金 2:当座預金
12	口座番号	N(7)	照会口座の口座番号(右詰め、前は”0”で埋めます)
13	口座名	C(40)	照会口座の口座名(先頭40文字まで)(左詰めで、残りはスペース)
14	ダミー	C(93)	スペースをセット

### ②データレコード

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「2」データレコードをセット
2	照会番号	N(6)	異動明細番号(右詰め、前は”0”で埋めます)
3	勘定日	N(6)	勘定日 YYMMDD(和暦)
4	起算日	N(6)	明細発生日 YYMMDD(和暦) 締後起算取引は、起算日をセットします。
5	金額(1)【金額】	N(10)	取引金額(右詰め、前は”0”で埋めます) (10桁を超える場合は、下10桁を表示します)
6	他店券金額(1)【うち他店券金額】	N(10)	取引金額中の他店券金額(右詰め、前は”0”で埋めます) (10桁を超える場合は、下10桁を表示します)
7	振込依頼人番号【振込依頼人コード】	N(10)	振込依頼人番号(右詰め、前は”0”で埋めます) 振込依頼人番号がセットされていない場合はスペース
8	振込依頼人名	C(48)	振込依頼人名(左詰めで残りはスペース)
9	仕向銀行名	C(15)	振込元の銀行名(左詰めで残りはスペース)
10	仕向店名	C(15)	振込元の預金店名(左詰めで残りはスペース)
11	取消区分	N(1)	0:振込 1:振込訂正
12	EDI情報	C(20)	依頼人から通知されたEDI情報 ※1
13	ダミー	N(52)	スペースをセット

③トレーラーレコード

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「8」トレーラーレコードをセット
2	振込合計件数	N(6)	取消区分が「0:振込」であるデータレコードの件数 (右詰め、前は”0”で埋めます)
3	振込合計金額	N(12)	取消区分が「0:振込」であるデータレコードの合計金額 (右詰め、前は”0”で埋めます)
4	取消合計件数	N(6)	取消区分が「1:振込訂正」であるデータレコードの件数 (右詰め、前は”0”で埋めます)
5	取消合計金額	N(12)	取消区分が「1:振込訂正」であるデータレコードの合計金額 (右詰め、前は”0”で埋めます)
6	ダミー	C(163)	スペースをセット

④エンドレコード

項目番	項目名	属性	項目内容
1	データ区分	N(1)	「9」エンドレコードをセット
2	総レコード件数	N(10)	エンドレコードまで含むデータの総件数 (右詰め、前は”0”で埋めます)
3	伝送口座数	N(5)	ヘッダーレコードの総件数(右詰め、前は”0”で埋めます)
4	ダミー	C(184)	スペースをセット

- 文字コードは「シフトJISコード」です。
- 属性 N: 数字 C: 文字 カッコ内はバイト数  
半角文字は1文字あたり1バイトになります。
- 振込入金明細をダウンロードする時、  
レコード長(バイト)に標準長(200)バイトより大きい数が指定された場合、  
各レコードの後ろに200バイトとの差分だけスペースを付加されます。
- 項目名の【】は、全銀フォーマットでの項目名になります。
- 振込入金明細(CAMSフォーマット2)は、全銀協制定レコード・フォーマット「フォーマットA」に  
準拠したフォーマットとなります。

※1 EDI情報欄に「。」(濁点、濁点、半濁点)で始まる文字列がセットされた場合、  
振込依頼人より金融EDI情報が送られてきていることを表します。  
金融EDI情報の内容は、取引通知サービスのサブメニュー「XMLファイルダウンロード」から  
ダウンロードしたXMLファイルでご確認いただけます  
(金融EDI情報のご確認には、取引通知サービスと取引通知XMLサービスのお申し込みが必要です)。